

11 番（小川義昭君）

市長、ぜひ実現に向けての御検討をよろしく願いいたします。

次に、職員及び元職員の地域への参画についてであります。

1つ目、本市は市民提案型のまちづくりを提唱して、積極的に市民協働によるまちづくりを推進されていますが、各種のボランティア団体の存在及び彼らが担っておられる活動に対して、市職員の皆さんはどれほどの認識をお持ちなのでしょう。最初に、市民の皆さんが参画している各地域のボランティア事業において、本市の職員が参画している割合はどれほどなのかお尋ねいたします。

2点目、市役所を退職された元職員の方々が、地域のボランティア事業などへ参画されているのかどうかについては、残念ながら低調だと聞き及んでいますが、市長が提唱されている市民協働のまちづくりを推進する上においても、行政に直接携わってこられて、諸経験も豊富な元市職員の方々が地域ボランティア事業などに積極的に参加されることは大変有益なことと考えます。

そこで、退職された元市職員に地域ボランティアの参画を促す方策が必要かと考えますが、いかがお考えでしょうか。

3点目、私は昨年12月会議において地域担当職員制度を創設してはどうかと提案し、質問しました。すなわち「市職員の地域活動への参加は住民との間に顔の見える関係が構築され、行政と地域の信頼関係の創出にも役立ち、縦割り行政の是正にもつながり、何より職員の新たな能力形成に資することなど、幾つもの利点がある」という具申でありましたが、この私の提言に対し、市側が示したのは「地域と行政がともにまちづくりに取り組むためには、職員みずからが地域活動に参画し、地域と向かい合いながらお互いの理解を深めることが有益である。地域に寄り添った人的支援として先進地の事例も参考にし、どのような仕組みが本市の市民協働でつくるまちづくりにふさわしいか、今後丁寧に検討する」とする答弁でした。

答弁の内容としては、とても前向きで熱意も感じられただけに、その後、どのように御検討されているのかが気になっています。今年の御答弁の後、何か具体的な検討はなされたのか、その成果は何かおありなのかお答えを願いたいと思います。